

映画をみて、とことん語り合しましょう！

7月13日（日）被ばく学習会・ウクライナ映像報告第1弾 「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」

3年余りがすぎました、福島第一原発事故からです。もはや心配はないのでしょうか？

法律が定めた年間1ミリシーベルトではなく、年間20ミリシーベルトを避難基準としたまま、住民の帰還が進められています。放射線防護策や健康調査は極めて限定的です。

そんな中、OurPlanetTVではチェルノブイリ事故後28年たったウクライナへ足を運び、子どもたちの健康状態や学校生活などを取材し作品にまとめました。取材地は、発災時には福島市と同程度の汚染を受けた、コロスステン市です。汚染地域の子どもの住民の発病率が今も上昇する中、医師、教師たちの懸命な努力が続けられています。

福島第一原発事故の放射能・放射線による健康影響について、「もはや、ありえない」という当局とマスメディアによる繰り返しがあ一方、「健康影響がでるのはチェルノブイリと同じように、むしろこれからだ」という心配があります。

チェルノブイリの28年から、私たちは何を学ばよいのでしょうか？ 映画をみて感想と疑問を出し合しましょう。



チェルノブイリ原子力発電所事故から28年。
子どもたちを守るために力を尽くすウクライナから、
私たちは何を学べるのか。

上映権付DVD

チェルノブイリ 28年目の子どもたち

低線量長期被曝の現場から 制作: OurPlanet-TV (2014年 / 43分 / DVD)
助成: ソーシャル・ジャスティス基金



上映開始 13:20

「チェルノブイリ・28年目の子どもたち(43分)」

- ・感想の語り合い
- ・質疑応答: 白石 草さん
(アプラネットTV代表、映画「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」プロデューサー&ディレクター)
- ・講演: 吉田由布子さん
(チェルノブイリ被害調査・救援女性ネットワーク)
「健康被害を綴った専門家たち、ウクライナ報告」

【日時】7月13日(日) 13:10 開場～17:15

【場所】アカデミー茗台(めいだい)・学習室 A

地下鉄丸の内線茗荷谷駅下車、春日通りを右へ徒歩8分
茗台中学校と同じビルで隣りの入口。エレベーターで7階へ

【参加費】700円【申込み】anti-hibaku@ab.auone-net.jp



8月10日（日）被ばく学習会・映像第2弾

ウクライナ最新取材「28年目の保養」報告(OurPlanetTV 白石草さん)ほか
アカデミー茗台(めいだい)・学習室 A ・ 13:10 開場～17:15

「放射線被ばくを学習する会」 <http://www57.atwiki.jp/20030810/>